

<学校教育>

「児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり ～エキスパート教員からコツを学ぼう～」

日時：平成28年12月26日（月）
場所：東部庁舎5階講堂他

【ねらい】エキスパート教員から日頃の実践を直接聞くことで、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりのコツを学ぶ機会とする。

第2回ワークショップは、約50名の参加者と16名のエキスパート教員による、盛大なものとなりました。エキスパート教員の授業づくりや児童生徒への思いを聞いたり、ICT機器の授業への活かし方を学んだり各会場が熱気に包まれました。あっという間の140分間でした。



エキスパート教員の皆さんには、ホワイトボードを活用しての模擬授業をさせていただいたり、教室の掲示物、教材教具のヒントとなる実物等の紹介や説明をさせていただいたりしました。

エキスパート教員の実践や着眼点を直接体験し知ることができ、参加者の皆さんにも多くの気づきや感動があったようでした。



エキスパート教員の経験に基づく話は、参加者だけでなく、エキスパート教員同士にも、よい刺激になると好評です。

各エキスパート教員の発表の後には、熱心な質疑応答がなされました。即実践、即改善に向けて動き出せるような回答ばかりで、質問された先生方の表情が和らぐのが印象的でした。



(まとめの会)

担当指導主事がキーワードで分科会の様子を伝え、参加者から感想をいただきました。



各分科会の様子をキーワードにまとめると…

(Aグループ) 【中・英語、中・理科、中・音楽】
『マネジメント力』

(Bグループ) 【小・音楽、中・音楽】
『音楽だよ！全員集合』『音楽は楽しいこと』の実感。

(Cグループ) 【小・道徳、中・音楽】
『どの子も参加できる楽しい授業⇒学級経営』

(Dグループ) 【小・学級経営、中・英語】
『明確なゴールイメージ』

(Eグループ) 【小・体育、小・外国語活動、中・英語】
『授業開きの大切さ(オリエンテーション)』
『〇はあっても×はない』

(Fグループ) 【中・数学、中・美術】
『授業の準備を完ぺきに。それが生徒にも伝わる。』
『準備⇄ストーリー⇄ゴール』

(Gグループ) 【小・算数、中・技術】
『①焦点化②めあて③ICT機器とアナログ教具』

【参加者の感想】

- ・今、悩んでいることについて、エキスパートの先生方に教えていただき、たいへん勉強になりました。教師の構えは、中学校でも小学校でも大切だなと思いました。
- ・エキスパート教員の先生方のお話から「学び続ける姿」を学びました。
- ・教科の枠を越える学びがあるので、他のグループの話も聞きたくなりました。
- ・エキスパート教員の確かな技術・知識の奥に、子どもへの愛情を感じることができました。
- ・目標を持つ(ゴールイメージ)お話が勉強になりました。ぶれずに、日々、子どもたちと向き合っていこうと思いました。
- ・子どもが「なぜ？」と食いついてくるような工夫や仕掛けを、ありとあらゆる手で考えていこうと思います。また、ICTとアナログを上手に使い分けながら、よりよい授業をしたいと思いました。
- ・自分の授業づくりに生かしたいことがたくさんありました。嬉しいです。早く子どもに会いたくなりました。
- ・教師も本物に触れ、感動体験を積むことが必要だと改めて実感した。

多くの参加者、エキスパート教員の皆さんのおかげで、たいへん充実したワークショップとなりました。いただいたご意見や要望をふまえて、これからも内容を充実させていきたいと思ひます。